

## 知事コメント

令和3年7月28日(水)

昨日の354名に引き続き本日も347名の新型コロナウイルス感染症の新規感染者を確認しました。

我々や専門家の想定を大きく上回る驚異的なスピードで急拡大しており、大きな衝撃を受けております。

沖縄県疫学統計・解析委員会からの昨日の報告によりますと、先週1週間の感染状況を分析したところ、年代別では10代から40代を中心に全年代で増加していますが、特に10代では142名に上り、前の週の3.7倍となるなど、増加が顕著です。

地域別では、中南部で感染拡大が加速しております。

職業別では、飲食店従業員が最多で55名、続いて建設業従事者47名、小売店従業員26名と続いています。

実効再生産数は2.07となっており、今後、かつて経験したことのない大きな流行に繋がる可能性が懸念されています。

今回の急激な増加の一因には、活動が活発な世代である20代～40代が主に会食等で感染し、自宅や職場で拡げていることが考えられます。10代以下の小中高校生の感染経路は、多くが家庭内感染となっています。また、デルタ株の割合が56.2%となっており、移入例の増加やアルファ株からデルタ株への置き換わりが進行していることも急速な流行拡大の要因となっています。

連休中の感染拡大を懸念していたところですが、潜伏期間を考慮すると、これらの要因が、緊急事態措置が再延長となった7月12日の週に多く起こったものと考えられます。

県では、このような感染者急増へ対応するため、医療機関に病床確保を依頼するほか、入院待機ステーションや、中部地区に新たなPCR検査窓口設置の打診及び宿泊療養施設の開設に向けた準備を進めてまいります。

また、看護師等医療従事者を確保するため、県内各関係機関や、厚生労働省に看護師等の派遣を依頼しています。

7月31日までを集中行動抑制期間と位置づけ、県有施設の休館などを実

施しているところですが、夏休みを迎え、子ども達の学習機会や居場所づくりにも配慮が必要となります。

子ども達にも配慮しつつ、この感染拡大を抑え込むため、今後どのような対策を講じることができるのか、庁内で検討を進めているところであります。

その上で明日、新型コロナ対策本部会議を開き、8月1日以降の対応方針について協議・決定し、その内容を発表してまいりたいと思います。

感染が急拡大している一方で、ワクチン接種の進んでいる高齢者世代の感染は比較的抑えられているという特徴が確認されています。

市町村においては集団接種や個別接種において加速化に取り組んでいるところですが、ワクチンの供給量が見通せないため、新規予約の停止や、接種件数の抑制を行わざるを得ない状況となっております。県においても、県民に対するワクチン接種を促進するため、広域接種センターや那覇クルーズターミナル接種センターを開設し、市町村と一丸となって取り組むこととしておりますが、ワクチンの確保が課題となっております。

そのため、政府に対し、緊急事態宣言下にある本県の厳しい感染状況を考慮のうえ、必要なワクチンを供給するよう要望書を提出することといたしました。

新型コロナウイルス感染症は、沖縄県にとって最悪と言っても過言ではない状況となり、多くの県民の方々にとって不安極まりない心情であろうと推察いたします。特に観光業、飲食業に従事するの方々にとっては先行きの見えない、諦めにも近い気持ちを持たれている方も多いと思われ、知事として、皆様の気持ちを想像すると、日々胸の詰まる思いに襲われています。

しかし、嘆いてばかりいても問題は何も解決しないことも事実です。この苦しく厳しい状況も、ワクチン接種率が向上していくことで徐々に沈静化していくことは確かであり、それまでの期間を、徹底した感染対策で県民の命・財産を守っていかねばならないと改めて強く思うところです。

県民の皆様におかれましては、コロナ感染対策に対し、日頃より多大なご協力をいただいております。改めて感謝申し上げます。しかしながら今しばらく、感染対策の成果を上げていくためのご協力をお願いいたしたく、

今一度「うつさない、うつらない」を基本に、生活様式、行動パターンの見直しを行っていただき、まずはご自分を、そしてご家族を守っていただくようお願い申し上げます。

現在の感染状況を最後とすべく、県民の思いを、今一度一つにして、立ち向かっていきたいと思えます。

ご協力をよろしくお願い致します。